

第5回胃瘻セミナー総括

第5回胃瘻セミナーは、2008年11月14日金曜日に開かれました。昨年の第2回が12月であったためか、12月にあると思われていた方も多かったようで、連絡の不徹底をお詫び申し上げます。

さて、今回は、初めての試みで、「患者さんの質問に答え、工夫を紹介していただく」として行いました。

会場内で、発言するのは勇気のいることですので、あまり質問は出ませんでした。それでも

- ・ こども病院の高度の手術技術を外に広めて欲しい。といった話、
- ・ お母さんの胃瘻出口部の服に対して、ご存じであったサイトの情報（エンジェルキッズウェア）など提供していただき感謝しております。

また、事前に、アンケートで質問事項を調べていただいたおかげで、外科の先生にも、返答をいただくことができ、スライドで紹介させていただきました。

ご協力感謝します。

JMSのバッグ、テルモの加圧バッグのアンケートもありがとうございました。

「大きすぎる」、「密閉がうまくいかない(爆発してしまった)」、「スピードの調節が難しい」という使い勝手が悪いとの返事が大多数を占めました。両者にアンケート結果を渡しましたので、改善を促します。ご使用希望の方は、おっしゃって下さい。

今回の後、いつものように会の感想のアンケートにも答えていただきました。

①胃瘻を造っている人と、これからの人の比率は、4：1。もっと、これからつくろうとしている人にも、きていただけるような会作りを目指します。

②ミキサー食をはじめて体調が良くなったという話をよく聞くようになってきました。会を始めたときに、なかなか進まないミキサー食への変更でしたが、栄養指導がうまく回るようになってきたことを実感します。

③不具合に関しては、

チューブの接続のトラブル。（接続チューブの硬さ、二股を一つにすること

については、会社に申し入れてみます。)

挿入部の膿，肉芽の問題が多いようです。(外科の回答を近日中にニュースグループの方に載せます。)

④体の具合に関しては、**ダンピング症候群**が問題となっています。会でもいったように、今まで全国的にこの状況を把握していなかったので、ご協力いただいで、改善方法を考えていきたいと思ひます。

⑤栄養量についても、ミキサー食にするとまずはカロリーが減るので、苦勞するようですが、次回の栄養学で考えていきたいと思ひます。

次回は、2009年2月13日金曜日13時から

こども病院 大会議室で行います。

テーマは、

「介護して下さる方に知っておいてもらいたい

栄養学(仮題)」

を予定しています。講師は、渡部 誠先生です。先生は、テルモ(株)の栄養開発をしておられますが、非常にわかりやすく話して下さいます。

患者さんのためのセミナーとしてやっていますが、最近の出席者は、病院、施設、特別支援学校の先生の出席が多くなっています。現場での。苦勞、疑問なども聴きながら、セミナーをやりたいと思ひます。

直接のお答えは基本的にしませんが、ご要望などは kodomo_irou@yahoo.co.jp まで。

2008年12月1日 神経科 渡辺誠司